

「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業」中間評価結果表

| | |
|-------|---------------------------|
| 研究領域 | 研究領域1 豊かな経済活力を生む社会経済制度の設計 |
| 研究課題名 | 持続的成長を可能にする産業・金融ネットワークの設計 |
| 責任機関 | 一橋大学 |
| 研究代表者 | 渡辺 努 |

評価結果

- A . 現行のまま推進すればよい
- A- . 研究計画の一部見直し等努力の余地がある
- B . 研究計画の大幅な見直し等一層の努力が必要である
- C . 研究費の減額又は研究の終了が適当である

評価にあたっての意見

本研究は、問題意識と着眼点が斬新であり、実証データに基づく新しい知見が出されるなど、有意義な研究が着実に進展していると評価できる。

今後は「つながり力」が有するマイナスの効果や、リーマン・ショック前後のデータの歪みの有無に関する分析、また、データセットの制約（企業名がわかるのは主要取引先のみ等）と分析結果との関係に留意し、具体的な事例の研究や取引の量的側面だけでなく質的な側面の分析をも加えることにより、重層的な分析を試みていただきたい。

研究の成果として、「つながり」を強めることのメリットとデメリットを提示した、具体的で有用な社会提言がなされることを期待したい。